

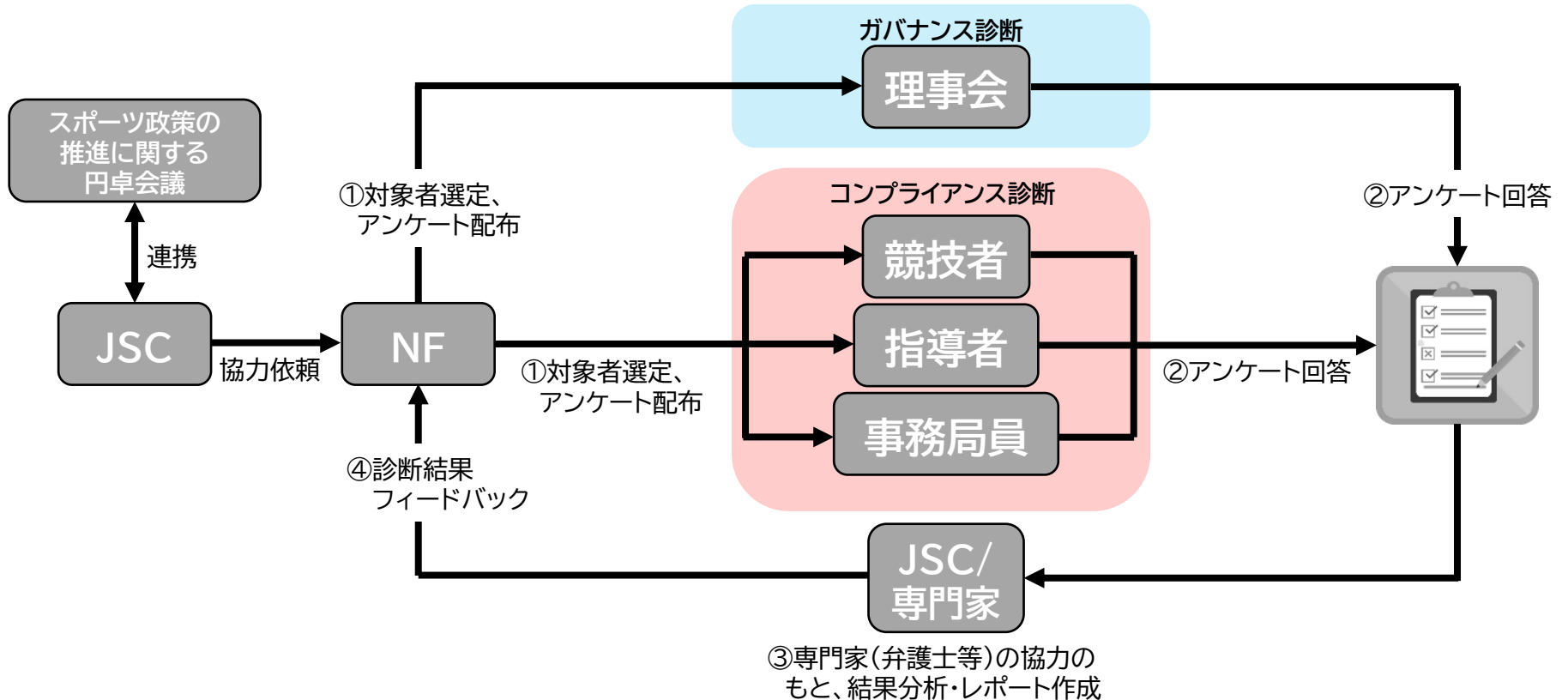
スポーツ政策の推進に関する円卓会議(第12回)  
**JSC関連事業報告**

2026年3月27日

独立行政法人日本スポーツ振興センター  
スポーツ・インテグリティ・ユニット

# 中央競技団体のガバナンス・コンプライアンス診断（モニタリング）

「スポーツ・インテグリティの確保に向けたアクションプラン」(2018年12月、スポーツ庁)  
 (5)中央競技団体に対するモニタリングの実施  
 ○JSCは、中央競技団体のガバナンスやコンプライアンスの状況の改善に資するよう、2019年度以降、円卓会議と連携し、モニタリングを着実に実施するとともに、その結果を円卓会議に報告してJSPO、JOC及びJPISAと共有する。



目的: 中央競技団体のガバナンス又はコンプライアンスに関する現況評価を行い、より良い団体運営の推進を支援する  
 方法: 対象者にアンケートを送付し、回答結果をJSCで集計・分析し、NFにフィードバックする  
 対象: (ガバナンス)理事会構成員、(コンプライアンス)競技者、指導者、事務局員

## 適合性審査とガバナンス・コンプライアンス診断の比較

	適合性審査	ガバナンス診断	コンプライアンス診断
目的	ガバナンスコード遵守状況に関する審査	適合性審査では捉えられない、理事・監事の理解・認識に関する <b>現況評価支援</b>	適合性審査では捉えられない、競技現場及び事務局内の <b>リスク評価支援</b>
内容	所定の様式に基づき、組織運営上必要となる規程、計画、体制等の整備状況及び運用実績等の確認 必要な規程等が未整備の場合、遵守に向けた具体的な計画提出を求める	<b>現職の理事・監事</b> に対するオンラインアンケートを通して、 <b>団体運営に関する理解、認識の状況、課題感等を整理</b> 面談で結果をフィードバック	<b>選手・指導者・事務局員</b> に対するオンラインアンケートを通して、 <b>コンプライアンス違反発生リスクを評価</b> 面談で結果をフィードバック
対象	JSPO/JOC/JPC加盟NF 実施は4年に1回	前年度に適合性審査を通過した団体から無作為抽出	オリンピック・パラリンピック競技種目NF JSCからの助成金交付決定額、競技属性、競技成績等を考慮し選定
位置づけ	JSPO/JOC/JPC加盟NFの義務	実施は <b>任意</b>	
方法	書類審査が中心	アンケート及び面談	
影響	翌年度以降の助成金受給資格・交付額や統括団体の加盟資格に影響	診断結果は団体運営の参考情報 <b>助成金や適合性審査等に診断結果が反映されることはない</b> ※助成金等と連動しないことにより、取り繕いのない実態把握が可能	

# 中央競技団体のガバナンス・コンプライアンス診断 対象団体の選定方針

## コンプライアンス診断

1. オリンピック・パラリンピック競技のNFであること
2. 個人競技・団体競技・夏季競技・冬季競技のそれぞれから選定すること
3. JSCからの助成金交付額
4. 競技成績(メダルポテンシャルアスリート)

※上記の条件を掛け合わせ、上位の団体から対象に選定

## ガバナンス診断

1. 統括団体が実施する適合性審査を通過した団体を対象とする
2. 適合性審査の翌年度に、対象団体を以下の要領で層化抽出
  - ・ 公益認定の有無を縦軸、資産額の中央値\*を横軸に設定し、対象団体を4グループに分類
  - ・ 各グループから無作為抽出

\*資産額はJSPO/JOC/JPC加盟NFの最新決算資料(公開情報)から算出

公益認定	(有)	<b>1</b>	<b>2</b>
	(無)	<b>3</b>	<b>4</b>
		中央値未満	中央値以上

資産額

## ガバナンス・コンプライアンス診断実施団体 (2025年度)

ガバナンス診断	公益社団法人日本アイスホッケー連盟 一般社団法人ワールドスケートジャパン 公益社団法人日本綱引連盟 公益財団法人日本テニス協会(※1)
コンプライアンス診断	公益社団法人日本アイスホッケー連盟 公益社団法人全日本アーチェリー連盟(※2) 一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会(※2)

※1:実施中(令和8年3月現在)  
※2:団体からの要望を踏まえ、  
昨年度に引き続き実施

# ガバナンス診断アンケート

1	あなたは、理事・監事に就任されて、現在何期目ですか。 (ここでの1期は2年としてお考え下さい。)	19	あなたは、所属団体における監事の役割について説明を受けたことがありますか。
2	あなたは、業務執行理事ですか。	20	あなたは、所属団体において監事が業務を遂行するにあたり、事務局から十分なサポートを受けていると思いますか。
3	ご自身のガバナンスに関する理解度として、当てはまるものを選択してください。(複数選択可)	21	あなたの所属団体では、危機管理マニュアル等の法人の存続を脅かす危機や不祥事が発生した場合の対応方針・手順が定められていますか。
4	所属団体の現職の理事・監事が、ガバナンスを確立することの重要性を理解し、理事会での振る舞いを含めて、適切に行動していると思いますか。	22	あなたは、所属団体の理事・監事が、その内容を認識していると思いますか。 (Q21で「定められている」を選択した方のみご回答ください。)
5	あなたは、これまでの所属団体の理事会運営において、過去2年以内で団体ガバナンスの観点から疑念を抱くことがありましたか。	23	あなたの所属団体では、過去2年において、理事会に不祥事案が報告されたことがありますか。
6	(Q5で「あった」と回答した方に質問します。) Q6. それはどのような問題でしたか。下記の中から選択してください。(複数選択可)	24	あなたは、所属団体における危機管理や不祥事の対応について説明を受けたことがありますか。
7	あなたの所属団体では、理事会運営方法の詳細を定めた規程・ルール(理事会運営規程等)が作成されていますか。	25	あなたは、所属団体で不祥事が発生した際、一部の業務執行理事や事務局長の中だけにとどまらず、理事・監事に適時適切に最新情報が共有されていると思いますか。
8	あなたは、所属団体の理事・監事が、その内容を理解していると思いますか。 (Q7で「はい」を選択した方のみご回答ください。)	26	あなたの所属団体では、何が利益相反となるかについて指針(ポリシー)が作成されていますか(倫理規程、コンプライアンス規程等において利益相反の定義が定められている場合も含む)。
9	あなたは、所属団体の理事会が規程・ルールに基づき適切に運営されていると思いますか。 (Q7で「はい」を選択した方のみご回答ください。)	27	あなたは、所属団体の理事・監事が、その内容を理解していると思いますか。 (Q26で「作成されている」を選択した方のみご回答ください。)
10	あなたは、所属団体の理事の役割分担や責任の範囲が明確になっていると思いますか。	28	あなたの所属団体では、利益相反取引を行う際の手順が整備されていますか。
11	あなたは、所属団体の理事の役割分担や責任の範囲について説明を受けたことがありますか。	29	あなたは、所属団体の理事・監事が、その内容を理解していると思いますか。 (Q28で「作成されている」を選択した方のみご回答ください。)
12	あなたは、所属団体の理事会において法人の運営状況や課題を把握するうえで必要な情報や資料が適時提供されていると思いますか。	30	あなたは、所属団体における利益相反について説明を受けたことがありますか。(コンプライアンス研修等での説明を含む)
13	あなたは、所属団体の理事会において、優先度の高い議案に対して十分な議論時間が確保されていると思いますか。	31	あなたは、所属団体において利益相反取引を行う際、定められた手順に沿って適切に意思決定がされていると思いますか。 【利益相反取引の事例】 所属団体が役員自身又は役員が関係する団体と取引を行う／所属団体が役員に財産を譲渡する／役員が所属団体に有利子で貸し付けを行う／所属団体が役員の負債を肩代わりする又は担保を提供する 等
14	あなたの所属団体では、理事会議事録は適切に作成・保管され、必要な時に理事・監事が閲覧できるようになっていますか。	32	あなたは、所属団体において重要な契約を行う際、理事会での十分な審議や詳細な報告等、客観性・透明性につき、慎重な検討が行われていると思いますか。 【重要な契約の事例】 外部団体とのパートナーシップ契約／スポンサーシップ契約／知的財産権契約／外部団体への業務委託契約／公的機関からの助成金や委託事業に関する契約／事務局長等の重要な使用人の選任 等
15	あなたは、所属団体の理事会において遠慮や忖度なく、議論が行われていると思いますか。	33	あなたの所属団体では、役職員等の構成員が適用対象となる、コンプライアンス(法令等の遵守)に関する規程(コンプライアンス規程、倫理規程、行動規範等)が作成されていますか。
16	あなたは、所属団体に著しい損害を及ぼすおそれのある事実があることを発見したとき、誰に報告しますか。ここでいう「著しい損害」とは、法人の事業活動又は存続に関して損害を及ぼす事実を指します(例:事業所の事故・災害、役職員による横領、法人が提供する商品・サービスの欠陥により重大な損害が発生する可能性等)。(複数選択可)	34	あなたは、所属団体の理事・監事がその規程の趣旨を踏まえ、団体運営に関して監督の役割を十分に果たしていると思いますか。 (Q33で「作成されている」を選択した方のみご回答ください。)
17	あなたは、所属団体の理事・監事が、監事の「会計」監査の役割を理解していると思いますか。 ※会計監査とは、収入や支出が団体の本来の目的に沿ったものか、また、法人の規約に則った会計処理がされているかについて、執行部とは別の視点から調べ、評価することです。	35	あなたの所属団体では、理事・監事向けのコンプライアンス(法令等の遵守)に関する研修が定期的に(年1回以上)開催されていますか。
18	あなたは、所属団体の理事・監事が、監事の「業務」監査の役割を理解していると思いますか。 ※業務監査とは、法人の運営や業務が、法律や定款に則って行われているか、執行部とは別の視点から調べ、評価することです。	36	あなたは、その研修に参加していますか。 (Q35で「定期的に開催されている」と選択した方のみご回答ください。)

※回答は全て選択式。個人情報の入力なし。

## コンプライアンス診断アンケート(競技者・指導者用)

Q1	あなたは、直近6か月以内で、あなたの所属する代表チームおよび関連する活動中に物理的な暴力行為（体罰含む）を行ったり、受けたり、見聞きしたりしましたか。	Q8	あなたの所属する代表チームにはハラスメントにつながりそうな状況や雰囲気がありますか。
Q2	あなたは、直近6か月以内で、あなたの所属する代表チームおよび関連する活動中に暴言（例：人格・存在の否定、「無能」などの侮辱、名誉やプライドを傷つける言葉等）を行ったり、受けたり、見聞きしたりしましたか。	Q9	その状況や雰囲気はどの場面で多く見られますか。
		Q10	あなたが所属する代表チームには異性の競技者、指導者及び関係者が、指導等の必要性なく二人きりになるような状況がありますか。
Q3	あなたの所属する代表チームには、暴力につながりそうな状況や雰囲気がありますか。	Q11	あなたは、直近6か月以内で、あなたの所属する代表チーム内の人々がドーピング違反（例：禁止物質・禁止方法の使用、ドーピング検査の拒否・妨害、居場所情報の提出拒否又は提出忘れ（複数回）、指導者・トレーナー等が競技者に禁止物質・禁止方法を使用すること又は使用を企てること等）をしているのを見聞きしましたか。
Q4	その状況や雰囲気はどの場面で多く見られますか。		
Q5	あなたの所属する代表チームには、時にはある程度の暴力（手をあげる、暴言をはく等）は競技力向上のためには致し方なしという考え方や雰囲気がありますか。	Q12	あなたの所属する代表チームでは、記録を伸ばしたり勝利することのためには、現行ルール上明確に禁止が明記されたり罰則が決められている以外の方法は、多少危険かなと思っても手段を選ばず使えば良いのだという雰囲気がありますか。
Q6	あなたの所属する代表チームには競技者のパフォーマンスが伸びないことによるプレッシャーやイライラ感が暴力（手をあげる、暴言をはく等）につながるような雰囲気がありますか。	Q13	直近6か月以内で、反社会的勢力と疑われる組織や人物（暴力団等）からあなたや、あなたの所属する代表チームの他の競技者、監督・コーチ等に対して何らかの接触があったり、そのようなことを見聞きしたりしましたか。
Q7	あなたは、直近6か月以内で、あなたが所属する代表チームおよび関連する活動中にハラスメントを行ったり、受けたり、見聞きしたりしましたか。	Q14	あなたの所属する代表チームには社会的なルールやモラル等に反する行動（賭博や大麻等薬物の使用を含む）が許される状況や文化がありますか。

- 回答は全て選択式。
- 個人情報の入力なし。

## コンプライアンス診断アンケート(事務局員用)

Q1	あなたは、直近6カ月以内で、あなたに与えられている業務量についてどのように感じていますか。	Q8	あなたは業務の一環として、代表チームの競技現場に行くことがありますか。
Q2	所属団体では規程等や行動規範よりも慣行が優先される場面が多いですか。	Q9	所属団体代表チームの競技現場には、ハラスメントや暴力につながりそうな状況や雰囲気がありますか。
Q3	あなたは、直近6カ月以内で、理事や上司からの指示により、法令に反していたり、文書で定められた事項（以下で「規程等」という。）に反した事務処理等を行いましたか。（複数回答可）	Q10	その状況や雰囲気はどの場面で多く見られますか。（複数回答可） （Q9で「ある」「どちらかといえばある」のいずれかにチェックをした方のみご回答ください）
Q4	理事や上司、競技現場から、規程等に照らして無理な事務処理の要求が許容される状況や文化があると思いますか。	Q11	所属団体の事務局内には、ハラスメントや暴力につながりそうな状況や雰囲気がありますか。
Q5	所属団体の事務局では、事務処理に関して相互点検の仕組みがありますか。	Q12	その状況や雰囲気はどの場面で多く見られますか。（複数回答可） （Q11で「ある」「どちらかといえばある」のいずれかにチェックをした方のみご回答ください）
Q6	あなたは所属団体の服務規程や倫理規程を理解していますか。（これらの規程により禁止されている事項を理解していますか。）	Q13	直近6カ月以内で、反社会的勢力と疑われる組織や人物（暴力団等）からあなたや所属団体内の他の人に対して何らかの接触があったり、そのようなことを見聞きしたりしましたか。（複数回答可）
Q7	あなたは、直近3カ月以内で、業務に関連してハラスメントを行ったり、受けたり、見聞きしたりしましたか。（複数回答可）		

- 回答は全て選択式。
- 個人情報を入力なし。

# スポーツガバナンスウェブサイト運用実績報告

## 登録団体数: **2,446**

<内訳>

一般スポーツ団体: 2,325

【内訳】総合型地域スポーツクラブ: 1,040  
スポーツ少年団 : 87

中央競技団体 : 121

※2026年3月5日時点で公開済みの団体数

※前年度比**6%増加**(2025年3月末時点の登録団体数: 2,307)

※2024年12月～2026年2月に自動削除となった団体数: **170**

(注)自己説明を公表後、4年間更新がなかった団体は自動削除

### スポーツガバナンスウェブサイト概要

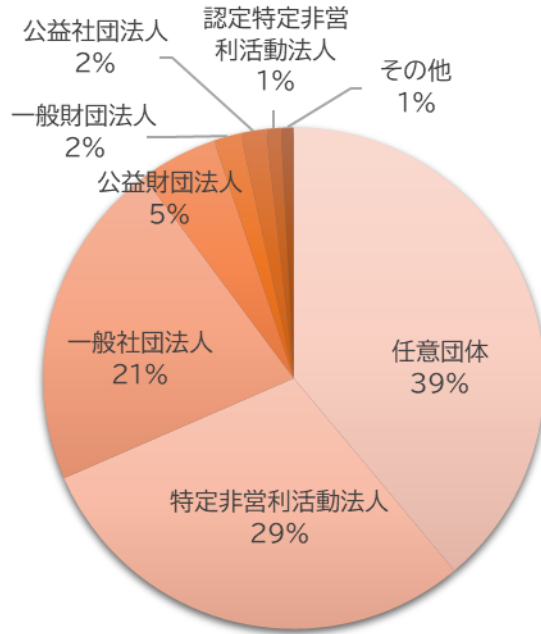
- スポーツ団体の「スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>」に基づく自己説明・公表を促進することを目的に構築されたウェブサイト。2021年3月運用開始。
- 24時間365日、無料で利用可能。
- 利用団体は団体IDを取得し、団体基礎情報(団体名、法人格、所在地、実施競技等)とともに、自団体の自己説明を登録し、公開する。
- 各団体が登録した情報は、メールアドレス等の個人情報を除き、全て公開され、閲覧・検索可能。

<https://www.sg-web.jpnsport.go.jp/sgw/Top>

The screenshot shows the JAPAN SPORT COUNCIL website interface. At the top, there are navigation links for 'ログイン' and '団体情報登録 (マイページID発行)'. The main content area is titled 'スポーツガバナンスウェブサイト' and contains three sections: 'このウェブサイトについて', 'スポーツ団体の方へ', and '閲覧者の方へ'. Below these sections is a search and registration form with fields for '団体名称', 'コード区分', '競技名', '団体所在地', '加盟団体', '登録名', '郵便府県', '市区町村', and '二重 氏 名'. There are buttons for '検索' and '条件クリア'. Below the form is a table of registered organizations with columns for '団体名称', '法人区分', '郵便府県', '市区町村', and '最終更新日'. The table lists several organizations, including '特定非営利活動法人 鹿児島県 鹿児島市', '一般社団法人 埼玉県 さいたま市', '特定非営利活動法人 鳥取県 安来市', '特定非営利活動法人 東京都 港区', '一般社団法人 神奈川県 横浜市', '公益財団法人 愛知県 名古屋市', and '任意団体 茨城県 仙台市'. The table has a pagination control at the bottom right showing '1 2 3 4 5' and '最終更新日 (降順)' and '10件'.

# スポーツガバナンスウェブサイト登録団体統計情報 (一般スポーツ団体)

## 1. 法人格別内訳



## 2. 登録団体所在地

(登録団体数上位都道府県)

1 東京都	249	(10.9%)
2 神奈川県	119	(5.2%)
3 兵庫県	117	(5.1%)
4 北海道	100	(4.4%)
4 岐阜県	100	(4.4%)
6 愛知県	95	(4.2%)
7 山形県	84	(3.7%)
8 福岡県	79	(3.5%)
9 秋田県	75	(3.3%)
10 大阪府	73	(3.2%)
11 埼玉県	70	(3.1%)
12 福島県	57	(2.5%)

## 3. 登録団体実施競技 Top15

1 サッカー	767	(31.2%)
2 バドミントン	635	(25.8%)
3 卓球	588	(23.9%)
4 バスケットボール	488	(19.9%)
5 陸上競技	480	(19.5%)
6 バレーボール	479	(19.5%)
7 テニス	388	(15.8%)
8 ダンス	368	(15.0%)
9 グラウンド・ゴルフ	318	(12.9%)
10 体操	312	(12.7%)
11 ソフトテニス	303	(12.3%)
12 軟式野球	268	(10.9%)
13 ヨガ	247	(10.0%)
14 太極拳	244	(9.9%)
15 剣道	226	(9.2%)

## 4. 下部団体数

10未満	251	(35.9%)
10以上、30未満	196	(28.0%)
30以上、100未満	164	(23.4%)
100以上	89	(12.7%)
※回答団体数	700	(30.1%)

## 5. 登録競技者数

100人未満	399	(26.5%)
100人以上、500人未満	693	(46.0%)
500人以上、1,000人未満	168	(11.1%)
1,000人以上、3,000人未満	107	(7.1%)
3,000人以上、10,000人未満	77	(5.1%)
10,000人以上	64	(4.2%)
※回答団体数	1508	(64.9%)

## 6. 役員及び職員の合計

10人未満	534	(31.7%)
10人以上、20人未満	684	(40.5%)
20人以上、50人未満	346	(20.5%)
50人以上、100人未満	72	(4.3%)
100人以上	51	(3.0%)
※回答団体数	1687	(72.6%)

# 2025年度スポーツガバナンスウェブサイト登録団体対象研修(1)

## 一般スポーツ団体を対象に3種類の対面研修を合計7回開催

テーマ	内容	開催月	開催地	対象	参加者数
A 利益相反管理	利益相反の特定、利益相反取引の実務等について公認会計士が解説	7月	東京	東京・神奈川・埼玉	15人
		10月	東京/オンライン	全団体	30人
		12月	愛知	愛知県スポ協加盟団体★	40人
B 役員の役割と責務	スポーツ団体の理事・監事の役割と責務について弁護士が解説	7月	東京	東京・神奈川・埼玉	21人
		10月	東京	東京・神奈川・埼玉	18人
		2月	大阪	関西6府県	17人
C 自己説明・公表実践セミナー	一般スポーツ団体向けガバナンスコードを用いた自己説明作成の要点を弁護士が解説	12月	秋田	秋田県スポ協加盟団体★	18人

★スポーツガバナンスウェブサイト登録団体数が多い地域の県スポーツ協会と連携し研修会を開催

独立行政法人日本スポーツ振興センター  
令和7年度スポーツガバナンスウェブサイト登録団体対象コンプライアンス研修

### スポーツ団体における適正な利益相反管理に向けて

利益相反管理をマスターするための120分！

- 利益相反を特定できるようにする
- 利益相反管理がなぜ必要かを知る
- 身近で起こり得る事案から利益相反を特定する
- 利益相反が生じるときの手続きが分かる
- 利益相反管理の具体的な手続きを学ぶ
- 団体が実践している事例について知る

講師/高尾 真一郎 公認会計士

日時 令和7年11月14日(金) 16:00~18:00

ハイブリッド開催  
会場: (後)日本スポーツ振興センター(東京都港区赤坂4-1) オンライン Zoom=オンライン

先着30名 参加費無料 (定額30名、オンライン30名)

申込期間: 令和7年11月7日(金)

申込方法: 下のURLから申し込みください。

申込先: 日本スポーツ振興センター

令和7年度スポーツガバナンスウェブサイト登録団体対象コンプライアンス研修

### スポーツ団体における役員の役割と責務を理解する

日時 令和7年7月23日(水)16:00~18:00

講師/高尾 真一郎 公認会計士

先着30名 参加費無料

申込期間: 令和7年7月16日(金)

申込方法: 下のURLから申し込みください。

申込先: 日本スポーツ振興センター

令和7年度スポーツガバナンスウェブサイト登録団体対象コンプライアンス研修

### 「スポーツ団体ガバナンスコード」自己説明・公表の実践セミナー

団体の未来を考える2時間

自己説明・公表を通じて、信頼される団体づくりをさらに進めるための研修です。スポーツでガバナンスコードを提出した弁護士が講師を務めます。他団体の事例も学びつつ、実践につながる方法が身につきます！

こんな疑問にお答えします！

- 自己説明ってどういう意味？
- 自己説明って何を書けばいいの？
- 他の団体はどうしているのかな…？
- 結局、何の役に立つの？

日時 12/19(金)14:00~16:00

場所 秋田県スポーツ科学センター 研修室

対象 秋田県スポーツ協会加盟団体関係者 (秋田県内限定)

定員 40名

お申し込みはこちらから

申込先: 秋田県スポーツ協会

12月 自己説明実践セミナー

2月 役員の責務

(R6:2月 利益相反)

7月 利益相反、役員の責務

10月 利益相反、役員の責務 (R6:12月 利益相反)

12月 利益相反

# 2025年度スポーツガバナンスウェブサイト登録団体対象研修(2)

## 開催した研修会の平均満足度 **4.5**/5 研修テーマに関する **理解向上** に貢献

	開催数	参加者	アンケート回答数	アンケート回収率
合計	7回	159人	132	83.0%
A: 利益相反	3回	85人	69	81.2%
B: 役員の責務	3回	56人	53	94.6%
C: 自己説明	1回	18人	10	55.6%

■ アンケート回答数は、研修前と研修後の両方に回答があったもののみ集計。

平均満足度 <b>4.5</b> /5 (94.7%)		
	スコア	上位2項目割合
新たな気づきを得られた	4.5/5	93.2%
業務に役立つ	4.5/5	93.9%
内容を関係者に共有したい	4.3/5	91.7%
関係者に参加を勧めたい	4.3/5	89.4%

- 各研修会の事後アンケートの回答を集計。(5段階評価)
- 設問・選択肢は全ての研修会で共通のため、合計スコアを表示。

### 理解度の変化(平均スコアの比較)

	研修前	研修後	差分	研修効果
A: 利益相反	51.2/100	81.0/100	<b>29.8 ↑</b>	極大 (d=1.80)
B: 役員の責務	63.1/100	76.6/100	<b>13.5 ↑</b>	大 (d=0.97)
C: 自己説明	53.9/100	72.5/100	<b>18.6 ↑</b>	極大 (d=1.63)

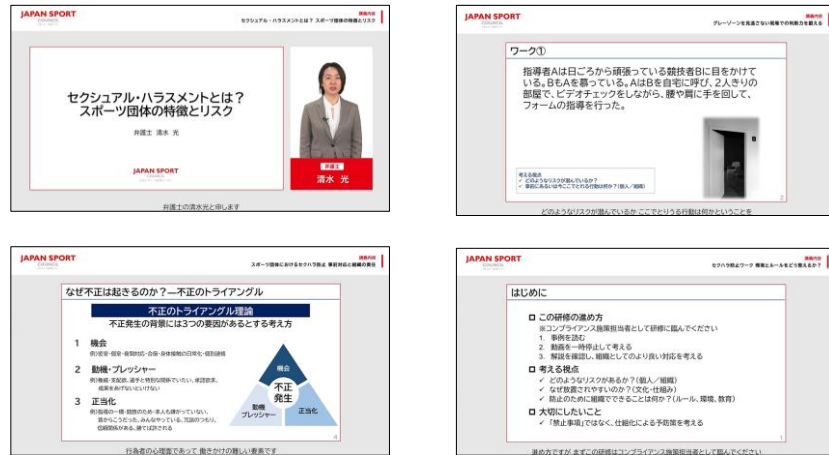
- 各研修会では研修前と後にアンケートを実施。研修の効果測定として、研修前後の理解度スコアの変化を測定。
- ここでの「理解度スコア」とは、知識テストの結果ではなく、研修テーマに関連する理解・認識の度合いについて回答者の自己評価を数値化したもの。
- 上表では各研修会の理解度スコアを100点満点方式に換算し平均点を表示。各研修プログラムの理解度チェックの設問数と評価方式は以下のとおり:  
A: 7問、5段階評価(35点満点)  
B: 6問、10段階評価(60点満点)  
C: 4問、10段階評価(40点満点)
- 研修効果は、効果量d(z)(平均差を差分標準偏差で除して算出)を下記の基準で評価。  
【評価基準】 0.2=小 / 0.5=中 / 0.8=大 / 1.2以上=極大

### <参加者の声>

- ・ クイズや事前質問への回答なども用意していただいたり、団体の立場での事例を交えて説明いただいたので分かりやすかった。
- ・ もう少しケーススタディが多くても良かったかと思いました。
- ・ 「利益相反自体は手続きを踏めば決して悪いことではない」「後ろ指を指されないようにすること」ということが大変印象に残りました。
- ・ 内容がコンパクトで分かりやすく今後役に立てられると思います。団体関係者になる方は必ず受講すべきと考えます。
- ・ とても参考になりました。いろいろなところに情報提供したいと思います。
- ・ 勉強になりました。極小クラブ(団体)のため、生じうる諸問題に共感しました。
- ・ グループワークに抵抗があったが結果的には良かった。
- ・ 組織運営で生じる諸問題の事象をグループで相談・共有できたことを大変勉強になりました。
- ・ 他団体の方とも交流ができ、大変有意義でした。
- ・ 説明が分かりやすくてとても参考になった。
- ・ 今後の協会運営に参考になりました。

# 2025年度スポーツガバナンスウェブサイト登録団体対象研修(3)

## スポーツ団体関係者の自主学習用に**研修動画(4本)**を作成・配信



(参考)2024年度に作成・配信した研修動画一覧

タイトル	主な対象	形式
スポーツ団体におけるハラスメントの防止に向けて	一般	講義
規程整備の必要性	施策担当者	講義
相談窓口の設置・運用	施策担当者	講義
ハラスメント事案における調査・処分の在り方について	施策担当者	講義
ハラスメント防止研修の在り方について	施策担当者	講義
ハラスメントを理解する	一般	講義

タイトル	主な対象	形式
セクシュアル・ハラスメントとは？スポーツ団体の特徴とリスク	一般	講義
グレーゾーンを見逃さない 現場での判断力を鍛える	一般	ワーク
スポーツ団体におけるセクハラ防止 事前対応と組織の責任	施策担当者	講義
セクハラ防止ワーク 環境とルールをどう整えるか？	施策担当者	ワーク

- 2024年度より、[スポーツ団体関係者の自主学習用に研修動画](#)を作成し(1本あたり10~20分)、スポーツガバナンスウェブサイト登録団体に案内。
- 作成した動画は、過去のオンライン研修会のアーカイブ動画とともに、[JSCホームページ上で公開](#)(YouTubeへのリンク掲載)。
- 講師は、(一社)日本スポーツ法支援・研究センターの協力を得て選定。
- 今年度は、[スポーツ団体におけるセクハラ防止をテーマ](#)に、一般向けと施策担当者向けに分けて、講義形式及びワーク形式の動画を[合計4本](#)作成。

スポーツガバナンスウェブサイト登録団体における過去の研修アーカイブ動画の認知度は約**70%**  
活用実績ありと回答した団体は約**30%**

なお、NFの認知度は約**85%**  
活用実績ありと回答したNFは約**50%**

	全体	NF	一般スポーツ団体
認知度	70.5%	84.6%	68.4%
活用実績あり	27.7%	48.1%	24.6%
回答数	n=397	n=52	n=345
回収率	17.3%	43.3%	15.8%

出所:令和6年度スポーツガバナンスウェブサイト登録団体アンケート  
(実施期間:令和7年3月12日~31日)